



富山県

No.95

2020年4月

# 中央植物園だより



第22回私の植物写真展 富山県中央植物園長賞作品「シンメトリー」 撮影/上野 貴志さん

## チュウカザクラ (サクラソウ科)

チュウカザクラは中国四川省原産の多年草で、3～4月に開花します。「プリムラ・シネンシス」という名前で流通していますが、正式な学名はプリムラ・プラエニテンス (*Primula praenitens*)です。

## 今年のサクラ「フタカミザクラ (二上桜)」

富山県中央植物園では毎年「今年のサクラ」を決めて、その種類の紹介や植物画の展示を行っています。今年は今から50年前の1970年に高岡市の二上山で発見された「フタカミザクラ」(二上桜)を選定しました。園内の「富山ゆかりのサクラ」コーナーで4月上旬ごろに見ごろとなります。「フタカミザクラ」はキンキマメザクラとヤマザクラの自然交雑種であると考えられています。



今年のサクラ「フタカミザクラ」

BOTANIC GARDENS OF TOYAMA

# イギリス植物紀行 ―オックスフォード庭園整備に向けて

## 第四回 ウィッチヘーゼル・ナーセリーとサクラの導入

栽培展示課 高橋 一臣

2019年2月にイギリスを訪れたときの様子を紹介してきましたが、この訪問の第一の目的は、サクラの接ぎ木用の穂木を日本に持ち帰ることでした。

サクラの穂木を提供していただいたのは、ウィッチヘーゼル・ナーセリーのクリス・レーン氏。このナーセリーは、イングランド南東部のシッティングボーンの田園地帯にあり、オックスフォードからは車（高速利用）で片道2時間ほどかかります。サクラのコレクションのほかにも、フジやマンサクの収集で知られ、特にマンサク属は季節柄、花盛りでした（写真1）。ちなみに、ウィッチヘーゼル（witch hazel）とは英語でマンサクの仲間を指します。中国のシナマンサクと日本のマンサクの交雑種であるハマメリス・インターメディアを中心に、明るい黄色からオレンジ色、濃い赤色まで、さまざまな花色の多数の栽培品種があることに驚きました。

さて、今回イギリスから導入した17種類のサクラは、英国のサクラの現況を調査した中央植物園の大原隆明副主幹によって選定されたものです。もとは日本の品種であったにもかかわらず、英国に渡った後、本家の日本では絶えてしまった‘アサノ’、‘ダイコク’（写真2）などのほか、日本には未導入のイギリスの品種、その他の野生種などが含まれています。穂木は1月下旬にウィッチヘーゼル・ナーセリーで採取され、オックスフォード大学樹木園の尽力でイギリスでの検疫を済ませ、同園で保管されていました。検疫証明書とともに穂木を受け取り、航空機で日本に持ち帰りました。成田空港の植物検疫カウンターで検査を受けた後、大原副主幹と合流し、接ぎ木を委託する日本花の会結城農場（茨城県）に穂木を持ち込みました。このときはさすがに時差ほけで、強烈に眠かったのを覚えています。

幸い、ほとんどの品種が接木に成功し、昨年11月には苗木が植物園に届けられました。これらのサクラは、園内のサクラ・ウメ園のほか、芝生広場に新設される「オックスフォード庭園」に、オックスフォード大学植物園にあったヨーロツパクロマツの巨木「トールキン・ツリー」の種子から育てた苗（写真3）とともに植栽されます。芝生広場には「花の庭の会」の皆さんに管理をお願いしている宿根草の小規模な花壇がありますが（写真4）、庭園の整備にともない、長さ21m、幅4mのボーダー花壇に生まれ変わる予定です。

オックスフォード大学植物園は、来年には設立400周年を迎えます。同園との交流を通じて、中央植物園の展示やコレクションをさらに充実させていきたいと思います。



写真1 ウィッチヘーゼル・ナーセリーではマンサクが花盛り。右の人物はクリス・レーン氏。



写真2 日本では絶えてしまったサクラ‘ダイコク’。2017年4月、英国キール大学で(大原副主幹撮影)。



写真3 「トールキン・ツリー」の種子から発芽させて育成中の苗。



写真4 ボーダー花壇に拡充予定の芝生広場の宿根草花壇。



# イベント開催レポート

## 第7回クリスマスローズ展

「第7回クリスマスローズ展」が2月22日（土）～24日（月・祝）に開催されました。富山クリスマスローズの会、富山県クリスマスローズ生産組合の協力でおよそ200鉢を展示しました。特に今回はヘレボルス・ニゲル交配種を中心に白色の花に限った園芸品種を集めて「季節外れのホワイトクリスマス」と銘打って展示しました。



写真1. 「季節外れのホワイトクリスマス」コーナー。



写真2. クリスマスローズの花を浮かべた水盤の「浮かせ花」は多くの入園者がスマートフォンやカメラで撮影し、人気を博していた。



写真3. 暖冬の影響で開花が早かったが、200鉢を展示。

## 富山の植物 ◎『スズカマムシグサ』

栽培展示課 早瀬 裕也

スズカマムシグサ (*Arisaema pseudoangustatum* var. *suzukaense*) は、本州近畿地方の鈴鹿山脈から中部地方の西部（岐阜県、滋賀県、三重県、福井県、石川県）にかけて分布するサトイモ科テンナンショウ属の多年草で、ミヤマムシグサ (*Arisaema pseudoangustatum* var. *pseudoangustatum*) の変種として2012年に発表されました。富山県では基準変種のミヤマムシグサの分布は知られていません。

テンナンショウ属をはじめ、サトイモ科の植物の花には肉穂花序を包む大きな苞がありますが、仏像の光背に見立てて、仏炎苞と呼ばれます。

スズカマムシグサの見た目はコウライテンナンショウ (*Arisaema peninsulae*) によく似ていますが、花期がより遅く、仏炎苞が葉よりも明らかに遅れて展開し、仏炎苞は全体により白みを帯びて、仏炎苞腋部の内側に脈が浮き上がらない点で区別されます。テンナンショウ属の中でも、これらムシグサの仲間は

分類が難しいことで知られています。

富山県内ではこれまで自生が知られていませんでしたが、2019年に富山市の南部で自生地が1カ所確認されました。この場所はこれまで知られていた分布の北限である白山山麓の自生地よりも北に位置し、本変種の分布の北限であることがわかりました。



図1. スズカマムシグサ(富山市南部産 栽培品:2019年5月9日)



図2. コウライテンナンショウ(左)とスズカマムシグサ(右)の仏炎苞腋部の比較

# 植物だより：暖冬の影響で早春の植物が記録的に早く開花

昨年の秋から記録的な高温が続き、早春に開花する植物も、1か月ほど開花が早くなった種類があります。ナノハナ（セイヨウアブラナ）は例年3月下旬～4月上旬に桜やハナモモの開花に合わせて毎年種を播いていますが、今年は2月下旬にはすでに満開状態でした。フクジュソウも1月下旬に咲き始め、例年なら見ごろとなる2月中旬にはすでに葉が展開し始めました。ソメイヨシノの開花は今年も平年より早くなりそうです。



ナノハナが満開の桜・ウメ園(2月26日撮影) ほぼ満開のカワヅザクラ(2月26日撮影) フクジュソウ(2月7日撮影)

## 催し物のご案内

### ■企画展示

会場：サンライトホール  
入園料が必要です。

#### 私の桜写真展

##### 「富山県に咲く桜」

3月20日(金)～4月22日(水)

##### 第39回ツツジ・シャクナゲ展

4月24日(金)～4月26日(日)

##### 第41回春のラン展

5月2日(土)～5月4日(月・祝)

#### 私の植物画展

5月8日(金)～6月3日(水)

##### 第35回イワチドリ・山野草展

5月15日(金)～5月17日(日)

#### さつき・盆栽展

6月5日(金)～6月7日(日)

##### 第38回ウチョウラン展

6月19日(金)～6月21日(日)

##### 第5回夏のラン展

7月11日(土)～7月12日(日)

### ■特別開園

#### 第9回さくらまつり

4月2日(木)～4月5日(日)

9:00～21:30

(開花状況により変更することがあります)

さくらまつり期間中入園料/200円

### ■講演会

#### 「富山の自然を食らう

##### —野生生物と食文化—

5月16日(土) 13:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

### ■講座・講習会

#### 栽培講習会

##### 「シャクナゲの栽培と管理」

4月25日(土)・26日(日)

両日とも14:00～15:30

会場:サンライトホール(入園料が必要です)

#### 栽培講習会

##### 「ランの栽培と管理」

5月3日(日・祝)・4日(月・祝)

両日とも14:00～15:30

会場:ドリアスホール(入園料が必要です)

#### 植物画講習会 ◆要申込

5月23日(土)・24日(日)

10:00～16:00(2日間連続)

### 植物写真教室 ◎要申込

#### 「やさしい花の撮り方」

6月6日(土) 13:00～16:00

会場:管理研修棟研修室

### ■月例行事

月例行事には入園料が必要です。

#### 植物ガイド

##### —ボランティアと歩く植物園—

第1, 2, 4日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

##### —園長と歩く植物園—

第3日曜日 13:30～14:00

集合場所/サンライトホール

#### 緑のコンサート

5月2日(土)、6月6日(土)

14:00～15:00

シンセサイザー演奏:滝沢卓

◎要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から「電話」でお申込ください(先着順)。

◆要申込 事前の申込が必要です。申込は1ヶ月前から往復はがき、FAX、メール(botanic@bgty.m.org)で受け付けます。

※ 新型コロナウイルスの状況によって開催内容を変更する場合があります。

## 富山県中央植物園 入園案内

開園時間 9:00～17:00(入園は16:30まで)  
(11月～1月は9:00～16:30、入園は16:00まで)  
休園日 毎週木曜日  
(4月第1、2木曜日とGW、お盆、祝日の場合は開園)  
年末年始(12月28日～1月4日)

入園料 大人(一般および大学生) 500円  
団体料金(20名以上) 400円  
高校生以下ならびに70歳以上通年無料  
冬期入園料(12月～2月)  
大人(一般および大学生) 300円  
団体料金(20名以上) 240円  
高校生以下ならびに70歳以上通年無料  
年間パスポート(購入日より1年間有効) 2,100円

交通案内 JR富山駅から、富山地铁バス「ファボーレ経由萩の島循環」または「ファボーレ経由速星行き(休日のみ)」に乗車し「中央植物園口」停留所下車、徒歩約12分/富山市中心部より車で約15分/北陸自動車道富山インターより車で約15分/JR速星駅より車で約8分

## 富山県中央植物園だより No.95

編集・発行/富山県中央植物園(指定管理者:公益財団法人 花と緑の銀行)  
〒939-2713 富山市婦中町上轡田42 TEL 076-466-4187 <https://www.bgty.m.org/>  
令和2年3月25日発行 印刷/中村印刷工業株式会社